

宇美町商工会

経営発達支援計画事業評価報告書

(令和2年度分)

令和3年12月15日

宇美町商工会の北村指導員から委員に対し、経営発達支援事業の事業全体の概要について説明の後、それぞれの事業別に実施状況について説明を行い、委員からの質問や意見に対し、北村が回答したのちに委員が評価表の評価・検証結果フォームにより評価を行い、講評を記入した。評価する項目については以下の内容である。

#### I. 経営発達支援事業

- ① 地域の経済動向に関すること
- ② 経営状況の分析に関すること
- ③ 事業計画の策定に関すること
- ④ 事業計画策定後の実施支援に関すること
- ⑤ 需要動向調査に関すること
- ⑥ 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

#### II. 地域経済の活性化に資する取組

#### III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

- ① 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること
- ② 経営指導員の資質向上等に関すること

## 事業ごとの評価

以下に事業ごとの評価を記載する（区分別の個別判定は省略し総合判定を記載）。

### I. 経営発達支援事業

#### ①地域の経済動向調査に関すること

総合評価

区分	甲	乙	丙	丁
令和2年度	B	C	A	A

#### 【講評】

- ・地域経済状況を把握するために必要であり、現在の取り組みで維持することが望ましいという意見や、事業者は多忙であり有用な情報でも一方的な発信となる可能性がある。
- ・法制、税制の改正などは経営において重要な情報であるが自ら積極的に収集しない傾向があるため、情報の内容によっては商工会が積極的に発信を行うなどが必要と考える。
- ・動向調査の結果から次の施策・立案・実施が大切である。

#### ②経営状況の分析に関すること

総合評価

区分	甲	乙	丙	丁
令和2年度	A	B	A	A

#### 【講評】

- ・「ネット de 記帳」の導入推進が県下でも上位であり、利用者の育成に繋がり、経営委分析が可能となることは評価できる一方で支援体制が限界になっており、具体的な支援策を行う事業者（財務改善・事業承継など）を選定して行うことが必要と感じる。
- ・分析の結果を経営指導、相談につながるような活用が必要である。
- ・事業承継の潜在ニーズはまだまだあると思われ、改善提案を通して顕在化につなげたことは素晴らしい。

#### ③事業計画の策定に関すること

総合評価

区分	甲	乙	丙	丁
令和2年度	A	B	A	A

#### 【講評】

- ・新型コロナウイルス禍の中、補助金対応でかなり効果が見られた。
- ・セミナーについてはコロナ対策上やむを得ないが、今後方法を考える必要がある。
- ・計画は実現可能なものが無難であるが、革新的な他に例を見ない事業も考慮する必要がある（マイクロ計画・マクロ計画）。

#### ④事業計画策定後の実施支援に関すること

##### 総合評価

区分	甲	乙	丙	丁
令和2年度	A	B	A	A

##### 【講評】

- ・既存事業者のフォローアップは計画を上回っているが、創業者・第2創業者のフォローアップが目標を下回っており、きがるに相談に来られる関係づくりが求められる。
- ・従来は計画策定後のフォローが十分といえない。
- ・計画策定後の実施力が問われる。

#### ⑤需要動向調査に関すること

##### 総合評価

区分	甲	乙	丙	丁
令和2年度	C	C	C	B

##### 【講評】

- ・消費動向調査の実施方法や民間情報システムの活用について検証を行い、新たな手法などを研究する必要がある。
- ・事業者のニーズをとらえた情報提供が必要と思われ、①③の廃止は賢明と思われる。
- ・消費者（実際に物を使い、消費する人）の声が何より重要である。
- ・製造業・建設業が多いため樹脂動向調査の必要性が乏しい。調査内容の検討が必要。

#### ⑥新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

##### 総合評価

区分	甲	乙	丙	丁
令和2年度	B	C	B	A

##### 【講評】

- ・コロナ禍によりイベント開催が難しい中で、出来ることを考えて取り組んでいる。
- ・非対面での販売促進支援や相談対応が必要と考える。
- ・常に外の人声を聞くのが必要。
- ・新しい販売形態はあらゆる業種の方が模索していると思われ、商工会ならではの情報収集力および発信力に期待したい。

## Ⅱ. 地域経済活性化に資する取組

① 地域の活性化を図るための基本方針策定外部機関と連携した販路開拓に関する支援  
総合評価

区分	甲	乙	丙	丁
令和2年度	B	C	A	A

### 【講評】

- ・ 人流・商流を活性化するのは難しい中で、青年部を中心に事業者間の交流がみられる。
- ・ 会議という形式にとらわれず、気軽に情報交換できる取組みを検討して貰いたい。
- ・ 町内外の声（子供を含む）を聞くことが何より重要。
- ・ 魅力ある商業環境の創出を図るためには、行政・地元業者・各組織団体などが一体となり、町内はもちろん町外からもお金を落として貰えるような仕掛けが必要。
- ・ 形にとらわれず、あらゆる機会をとらえて関係機関との連携を深めることにより、地域経済の活性化に繋がることを期待する。

### Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

#### ①他の支援機関との連携を通じた円滑な支援ノウハウ等の情報交換に関すること

総合評価

区分	甲	乙	丙	丁
令和2年度	A	C	A	A

#### 【講評】

- ・粕屋地区広域の取組みはコロナ禍によりセミナーの実施はできなかったが、概ね連携は取れている。
- ・支援協について監事商工会となったことで連携が良くなっている。
- ・行政との連携については形にとらわれずに積極的な交流を今後も期待する。
- ・会員同士の交流が必要と考える。会員同士の紹介・コラボも出来るのではないか。
- ・賀詞交歓会などのイベントも参加しなければと思わせるメリットなどを考える。

#### ②経営指導員の資質向上に関すること

総合評価

区分	甲	乙	丙	丁
令和2年度	A	C	A	A

#### 【講評】

- ・コロナ禍により研修が実施できなかったことはやむを得ないが、OJTによる研修を検討しても良かったのではないか？補助金・経営革新などの事務・面談の同席や作業を行う等可能な範囲で検討して貰いたい。
- ・巡回訪問は職員の基本・そこにニーズがあり、シーズが隠れている。
- ・経営指導員のスキルアップは必要であるが、専門分野に関する知識取得には限界があり、外部機関との連携が引き続き必要と考える。
- ・県外事業への積極的参加による情報収集に期待する。
- ・日常的に情報の共有が図られ、それを基に丁寧な巡回訪問が行われている。